

9. 12. 12
3411

日本労働総同盟廿一回大会状況

労働課

在 留 本 報

昭和七年十一月十日

一般情報採録済

労働會

労働

<p>日本労働會館 建設寄附金</p> <p>第四十三回報告 (自昭和七年八月廿一日至昭和七年十月十七日)</p> <p>四萬壹千壹百六拾六圓貳拾壹錢也</p> <p>金貳千八百貳圓五錢也</p>	
<p>前月 越 高</p> <p>本月 受 高</p> <p>現在 高</p>	<p>受高内 無名氏 借入返却 五九五九四・二八</p> <p>金貳拾四也 目黒無名氏 五二・〇〇〇・三</p> <p>金貳拾圓也 岩崎金太郎 五六八〇・三</p> <p>金拾圓五拾五錢也 飯塚春之助 六九二・九三</p> <p>金拾圓也 杉岡重太郎 二〇七・五五</p> <p>金拾圓五拾錢也 東京塗裝工組合 四〇〇</p> <p>計 二〇八二・〇五</p>
<p>關東労働 基金報告</p> <p>前月 越 高 (三三・一九・九四)</p> <p>本月 受 高 (五五・五・六六)</p> <p>現在 高 (二二・二五・九九)</p>	
<p>兵庫縣 龍業相互金庫報告</p> <p>八月末現在</p> <p>金壹百拾五圓五拾四錢 前月繰越高</p> <p>一五拾參圓五拾錢 八月分積立高</p> <p>合計 金壹百六拾九圓拾錢也</p> <p>右之通り相違無之状也</p> <p>昭和七年八月三十一日</p>	

労働經濟

編輯後記

◆全国大会は日誌に追つた。予年に達した總同盟が、本年の大会では愈々労働組合主義徹底に力強く踏み出さうとしてゐる。これは本誌の議案集によつて充分うかがはれる。前途益々洋々たり、だ。

◆各組合へ御通知を差上げたが、十一月合衆編譯その他の事情で本誌は、十一月合併號として發刊しました。遅くも廿三日としてこれに今迄遅延九載もつての日々、是等期日するは正に九載もつての日々と思つて居ます。是等期日するは正に九載もつての日々と思つて居ます。

十一月號内容

◆非常時の世界労働組合運動座談會

出 水 上 隆 次郎 山崎 廣 英國労働黨の北北と非常時政治

伊 達 宗 西 本 高 策 イ労働總同盟の非常時政治

著 山田 節男 松岡 駒吉 日本労働組合運動時間短縮運動

山田 秀雄 松藤 健一 米國労働時間短縮運動

◆世界労働組合運動現勢資料

經濟 貿易の近狀 インフレーション

主眼 労働條件益々悪化 生活費暴騰

◆リットン報告書

◆日本労働組合會議結成後の情勢

◆總同盟東回盟の新團體協約

◆工業の概況

◆炭礦奉還論 亀井貫一郎

◆紙幣界の大合同と金融資本

◆松方幸次郎のロシア石油買入れ

◆郵便貯金利下げは何を意味するか

◆滿洲事變費と増税問題

定價表

半年 貳拾錢

一年 肆拾錢

發行所 日本労働總同盟本部

東京市芝罘三田四町二番地

電話三田四三三六番

電話東京三一五七番

郵政不取

東京市芝罘三田四町二番地

電話 三田四三三六番

電話 東京三一五七番

郵政不取